

地域連携会議結果（主な意見）

1. 須坂地域

主な意見

【第1回】

＜行動計画の作成について＞

- ◇ 行動計画例にある「この地に埋もれている植物などの資源を活用する」のところで、植物だけでなく動物（チョウなどの昆虫も含む）も入れて欲しい。

＜各団体の活動について＞

- ◇ レンゲツツジの維持のため、試験的に羊を放牧したが現実的ではない。平成 23 年度からグリーンワーカー事業や市の委託事業等を活用し、人力で刈ることで維持できるのではという感触を持っている。また、それらの活動は五味池破風高原管理委員会という組織を形成して行っている。
- ◇ 今年、米子古道の会を立ち上げた。米子から米子大瀑布まで、かつての米子鉱山への通勤ルートをトレッキングコースとして整備していく計画である。
- ◇ 現在看板整備の事業を行っており、今年中に完了予定である。
- ◇ 根子岳の峰の原側におけるトイレの整備について検討中である。
- ◇ 獣を目撃することが増えた。安全確保の対策を検討していかなければならない。

＜今後の会議のあり方について＞

- ◇ 事務局機能が重要である。かなりのコーディネート力が必要になってくる。
- ◇ 行動計画を作っただけという結果にならないよう、継続していくためには核になる人か組織が必要である。

【第2回】

＜現状の取組みについて＞

- ◇ スポーツイベントへの参加者が非常に減少している。
- ◇ 国道と林道の清掃を行っている。ゴミの問題が深刻である。
- ◇ イノシシやシカなどの頭数を減らさないといけない。ジビエなど利活用の方法も含めて駆除を検討して欲しい。
- ◇ スキー離れが進んで、スキー人口が減少している。
- ◇ 地域資源の有効利用について考えていきたい。
- ◇ 米子大瀑布群の名勝指定の申請に向けて学術調査を行っている。

＜これからやりたいことについて＞

- ◇ 「水源の確保」という言葉は、「水源の保全」にした方がよい。
- ◇ ツアーの企画、商品化、ガイドツアーの企画、PR 方法の検討、広報、ネイチャーガイドの育成は観光協会が主体となって行いたい。
- ◇ 標識や案内板について、五味池破風高原では英語以外の言語での表記もされている。他の地域でも新しく設置するときには同様な表記を行ってほしい。
- ◇ 米子大瀑布と五味池破風高原では、国立公園地域との境目に大きい看板が設置されていないので、設置をお願いしたい。
－看板については設置を検討していきます（環境省）。

＜行動計画全体について＞

- ◇ 作成する行動計画書は素人にもわかりやすいものにして欲しい。

2. 高山地域

主な意見

[第1回]

<看板・標識について>

- ◇ 外国の利用者への配慮はどういうふうになっているか。外国語も入れてもらいたい。
－基本的には多言語化に努めている（環境省）。

<公園利用におけるルールづくりについて>

- ◇ 毛無峠のラジコングライダーについて、第1種特別地域であるので、今まで侵入しないようにしてきたが、今後活用を考えた場合、ルールづくりはこういう場で検討していくのか。
－地域としての対応を議論する場としてふさわしい（環境省）。
- ◇ ラジコングライダーについては希少猛禽類の面から中止の方向にできないかとの意見が寄せられている。
－専門家の意見を聞きながら検討する必要がある（環境省）。

<電線、電柱、携帯電話の鉄塔について>

- ◇ 景観の写真を撮る人にとって電線、電柱が邪魔である。一部を地中化するなどできないか。また、携帯電話の鉄塔は各社共同で建てるなどして本数を減らせないか。鉄塔が建って景観が悪くなった。

<林道、登山道、遊歩道等について>

- ◇ 七味温泉の方の林道は通行止めだが、紅葉がきれいなのでハイキングコースとかにできないか。
－莫大な費用がかかるため、当面通行止めの扱いになっている（高山村）。
- ◇ 現在、舞の道の整備を行っている。再来年くらいには開通できる予定である。
- ◇ アジサイの遊歩道は完成した。新たな遊歩道整備を計画している。
- ◇ 笠岳の登山道は荒れているが何か計画はあるか。
－今後どうしていくか決まっていない（高山村）。

<太陽光発電等の用地取得について>

- ◇ 発電用の用地を貸してくれないかまたは売ってくれないかとの話がきている。慎重に対応していかなければならないと感じている。
- ◇ 水源の面からも心配している。村としての規制はないか。

<遭難対策について>

- ◇ ヘリコプターは動物には脅威となると思うがご理解を願いたい。
- ◇ 遭難が多いので、案内板等の対策を考えているところである。

<有害鳥獣対策について>

- ◇ 獣の被害が非常に多く、昨年 7.5km の電柵を設置した。

主な意見

【第2回】

<現状の取組みについて>

- ◇ 古道の整備を行っているが、竹を刈る作業が大変である。

<これからやりたいことについて>

- ◇ 自然景観は人の手をあまり入れない形で守るのがいいと思う。手をかけすぎると費用がかかりすぎて大変になる。
- ◇ 観光客の写真の邪魔になるので、電柱や電線は埋設して欲しい。
- ◇ 観光客に展望台を提供したい。候補地はある程度選定している。
- ◇ 伐採について、雑木は切ってもシラカバは残すというようなルール作りが必要である。
- ◇ 会の活動に若手が欲しい。
- ◇ 紅葉のシーズンや冬場になると、駐車場が足りないと感じている。駐車場の整備が必要である。
- ◇ 前回の会議で笠岳の登山道整備の話が出たので、治山工事を検討している。
- ◇ 村全体が山のことを意識できるように、副読本で子供たちに教育を行うとか、村民が山を学習する機会があるといいと思う。

<行動計画全体について>

- ◇ 計画の実現には法律、予算、プロセスの問題が存在することを理解して欲しいし、取りまとめの際にその旨を書いて欲しい。
- ◇ 3回目の会議で行動計画の決定となっているが、事前に内容を役場内で検討する必要がある。
- ◇ 出席されていない団体の方々もいるので、その点も配慮してほしい。